



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所 東
 コード番号 3964 URL <http://www.aucnet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤崎 慎一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 谷口 博樹 (TEL) 03(6440)2552
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	32,242	5.8	5,423	1.9	5,521	△0.5	3,512	1.3
2022年12月期第3四半期	30,485	-	5,321	10.9	5,547	10.7	3,468	13.7

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 3,738百万円(3.7%) 2022年12月期第3四半期 3,604百万円(10.4%)

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しているため、当該基準を適用する前の2021年12月期第3四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	139.05	138.40
2022年12月期第3四半期	125.55	124.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	37,796	21,967	56.9
2022年12月期	37,348	22,911	60.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 21,501百万円 2022年12月期 22,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	23.00	—	25.00	48.00
2023年12月期	—	24.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	6.3	6,300	△4.6	6,322	△5.6	3,945	△9.2	158.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期 3 Q	26,463,200株	2022年12月期	26,463,200株
2023年12月期 3 Q	2,814,116株	2022年12月期	352,116株
2023年12月期 3 Q	25,258,678株	2022年12月期 3 Q	27,627,825株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当社グループは、「価値あるモノを、地球規模で循環させる～Circulation Engine.」をサステナビリティポリシーと掲げ、循環型流通の構築に取り組んでいます。市場に出た価値あるモノを停滞させることなく循環させる仕組みづくりに寄与し、持続可能な社会に貢献する企業として、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

2022年5月には、中期経営計画「Blue Print 2025」を策定し、当社独自の指標である「Gross Circulation Value/総循環型流通価値」を始め、EBITDA、ROE、配当性向の4つを重要経営指標としました。「Blue Print 2025」をもとに、既存事業のシェア拡大や新規事業の開拓を推進し、さらなる会員ネットワークの拡大や流通形態の多様化を目指してまいります。

このような計画に基づき、事業を推進した結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は32,242,084千円（前年同期比5.8%増）、営業利益は5,423,477千円（前年同期比1.9%増）、経常利益は5,521,202千円（前年同期比0.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,512,181千円（前年同期比1.3%増）となりました。

	2023年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	32,242,084千円	+5.8%
営業利益	5,423,477千円	+1.9%
経常利益	5,521,202千円	△0.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,512,181千円	+1.3%

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、2023年12月期第1四半期連結会計期間の期首より、従来の「四輪事業」を「オートモビル事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

(オートモビル事業)

当事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比15.6%増の360万台、中古車の登録台数（※7）は、同1.0%増の486万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同18.0%増の604万台、成約台数（※8）は、同10.0%増の390万台となりました。

新車登録台数及び中古車オークション市場の出品、成約台数は第2四半期に引き続き、当第3四半期においても、前年同期を大きく上回る結果となりました。

車両検査サービスでは、中古車検査の需要が継続して高いことに加え、迅速かつ質の高い検査体制の構築に努めており、検査台数が大きく増加した結果、前年同期比増収増益となり、セグメント利益に大きく貢献しました。

落札代行サービスでは、当第3四半期において会員数の増加に加え、主に国内販売店の落札台数が好調に推移し前年同期比増収増益となりました。

ライブ中継オークションでは、中古車オークション市場が堅調に推移したことにより落札台数が増加した結果、前年同期比増収増益となりました。

自社開催の中古車オークションでは、出品及び成約台数が増加し、共有在庫市場では、当第3四半期において輸出業者会員との連携を強化したことにより落札台数が復調傾向となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は9,336,711千円（前年同期比8.4%増）、営業利益は3,069,492千円（前年同期比7.9%増）となりました。

	2023年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	9,336,711千円	+8.4%
営業利益	3,069,492千円	+7.9%

- (※1)中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車オークションのことです。
- (※2)共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。
- (※3)ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。
- (※4)落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。
- (※5)車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。
- (※6)一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より
- (※7)一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より
- (※8)2023年ユーストカー総合版+輸出相場版より

(デジタルプロダクツ事業)

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

デジタルマーケティングの活用による新規バイヤーの獲得や、スマートフォン周辺機器の出品増加等により、オークション参加バイヤー数は前年同期比で増加しました。一方で、端末価格の高騰や買い替えサイクルの長期化の影響により中古端末の流通台数は前年同期を下回り、取扱高は前年同期比で縮小しました。また、更なるバイイングパワー強化のための海外支店運営や、業務の効率化を図るための既存システムの改修、新オークション方式の導入による利便性の向上、C向けトレードインサービスの導入による調達先の多様化に注力するなど積極的な投資を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,053,420千円（前年同期比3.8%減）、営業利益は3,257,753千円（前年同期比8.4%減）となりました。

	2023年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	5,053,420千円	△3.8%
営業利益	3,257,753千円	△8.4%

(コンシューマープロダクツ事業)

当事業は、ブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスで構成されています。

B2B事業では、デジタルマーケティングの活用により、新規会員数及びオークション参加会員数が引き続き堅調に推移しました。加えて大手企業との提携により、高単価商品の出品が増加したことで平均成約単価が上昇し、取扱高が拡大した結果、前年同期比増収増益となりました。

C向け事業では、当第3四半期において、一部取扱商品の相場下落により買取・販売コントロールを行った結果、粗利率は想定を下回りましたが、インバウンド需要の高まりを背景に販売顧客数が増加し前年同期比増収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,094,472千円（前年同期比9.3%増）、営業利益は1,406,443千円（前年同期比9.8%増）となりました。

	2023年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	15,094,472千円	+9.3%
営業利益	1,406,443千円	+9.8%

(その他)

当事業は、中古バイク及び花きのオークション、サーキュラーコマース事業(医療関連事業含む。)及び海外事業等で構成されています。

当第3四半期連結累計期間の売上高(セグメント間の内部売上高を含む。)は3,083,438千円(前年同期比2.7%減)、営業損失は152,018千円(前年同期は営業損失361,110千円)となりました。

	2023年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	3,083,438千円	△2.7%
営業損失(△)	△152,018千円	—

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて448,129千円増加し、37,796,789千円となりました。これは主に、オークション貸勘定が2,817,747千円、棚卸資産が381,400千円増加したものの、現金及び預金が2,570,906千円、その他流動資産が222,213千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,391,389千円増加し、15,828,819千円となりました。これは主に、オークション借勘定が1,536,201千円、買掛金が102,223千円増加したものの、その他流動負債が518,555千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて943,260千円減少し、21,967,970千円となりました。これは主に、利益剰余金が2,252,120千円増加したものの、自己株式の取得により自己株式が3,421,556千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月14日に公表している業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,021,460	17,450,554
受取手形、売掛金及び契約資産	1,244,982	1,183,595
棚卸資産	2,662,673	3,044,074
オークション貸勘定	3,538,963	6,356,711
その他	2,931,556	2,709,343
貸倒引当金	△41,876	△45,454
流動資産合計	30,357,759	30,698,823
固定資産		
有形固定資産	1,637,989	1,650,325
無形固定資産		
のれん	550,444	460,479
その他	855,524	972,685
無形固定資産合計	1,405,968	1,433,165
投資その他の資産	3,946,943	4,014,475
固定資産合計	6,990,901	7,097,966
資産合計	37,348,660	37,796,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	785,956	888,180
オークション借勘定	7,202,380	8,738,581
未払法人税等	876,067	1,009,499
その他の引当金	234,819	298,157
その他	2,200,733	1,682,177
流動負債合計	11,299,957	12,616,596
固定負債		
退職給付に係る負債	1,816,027	1,864,280
株式給付引当金	228,171	267,781
その他	1,093,272	1,080,161
固定負債合計	3,137,471	3,212,222
負債合計	14,437,429	15,828,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,807,303	1,807,303
資本剰余金	4,207,369	4,207,369
利益剰余金	16,621,897	18,874,018
自己株式	△599,643	△4,021,200
株主資本合計	22,036,925	20,867,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,360	400,980
為替換算調整勘定	111,417	199,145
退職給付に係る調整累計額	49,382	34,380
その他の包括利益累計額合計	477,161	634,506
非支配株主持分	397,144	465,973
純資産合計	22,911,231	21,967,970
負債純資産合計	37,348,660	37,796,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	30,485,925	32,242,084
売上原価	17,425,959	18,503,406
売上総利益	13,059,965	13,738,677
販売費及び一般管理費	7,738,209	8,315,200
営業利益	5,321,756	5,423,477
営業外収益		
受取利息	2,891	4,219
受取配当金	51,362	57,389
為替差益	159,403	65,377
その他	50,163	18,657
営業外収益合計	263,820	145,644
営業外費用		
支払利息	261	107
持分法による投資損失	10,814	17,766
支払報酬	8,771	25,220
その他	18,106	4,824
営業外費用合計	37,952	47,919
経常利益	5,547,623	5,521,202
特別利益		
関係会社清算益	8,341	4,539
その他	1,073	117
特別利益合計	9,414	4,657
特別損失		
関係会社清算損	-	8,052
その他	172,831	3,114
特別損失合計	172,831	11,166
税金等調整前四半期純利益	5,384,207	5,514,693
法人税等	1,867,061	1,933,682
四半期純利益	3,517,145	3,581,010
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,457	68,829
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,468,688	3,512,181

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,517,145	3,581,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,731	84,619
為替換算調整勘定	155,861	87,727
退職給付に係る調整額	△11,407	△15,001
その他の包括利益合計	87,722	157,345
四半期包括利益	3,604,868	3,738,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,556,410	3,669,526
非支配株主に係る四半期包括利益	48,457	68,829

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,567,600株の取得を行っております。この取得の結果、自己株式が3,543,288千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートモビル 事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシューマ プロダクツ 事業	計				
売上高								
オークション関連収益	5,837,059	5,118,383	1,841,477	12,796,920	1,409,518	14,206,438	—	14,206,438
商品販売関連収益	277,613	137,285	11,948,239	12,363,139	608,234	12,971,374	—	12,971,374
その他	2,393,711	—	23,270	2,416,982	891,130	3,308,112	—	3,308,112
顧客との契約から 生じる収益	8,508,385	5,255,669	13,812,987	27,577,042	2,908,883	30,485,925	—	30,485,925
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,508,385	5,255,669	13,812,987	27,577,042	2,908,883	30,485,925	—	30,485,925
セグメント間の 内部売上高又は振替高	102,447	—	—	102,447	261,612	364,060	△364,060	—
計	8,610,832	5,255,669	13,812,987	27,679,489	3,170,496	30,849,986	△364,060	30,485,925
セグメント利益又は 損失(△)	2,845,467	3,556,040	1,281,122	7,682,630	△361,110	7,321,520	△1,999,764	5,321,756

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,999,764千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに配分されていない減損損失は75,151千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートモ ビル事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
オークション関連収益	6,190,133	4,835,498	2,117,662	13,143,294	1,387,706	14,531,000	—	14,531,000
商品販売関連収益	309,750	217,921	12,864,717	13,392,389	553,709	13,946,099	—	13,946,099
その他	2,736,056	—	112,092	2,848,148	916,835	3,764,984	—	3,764,984
顧客との契約から 生じる収益	9,235,940	5,053,420	15,094,472	29,383,832	2,858,251	32,242,084	—	32,242,084
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,235,940	5,053,420	15,094,472	29,383,832	2,858,251	32,242,084	—	32,242,084
セグメント間の 内部売上高又は振替高	100,770	—	—	100,770	225,186	325,957	△325,957	—
計	9,336,711	5,053,420	15,094,472	29,484,603	3,083,438	32,568,041	△325,957	32,242,084
セグメント利益又は 損失(△)	3,069,492	3,257,753	1,406,443	7,733,690	△152,018	7,581,671	△2,158,194	5,423,477

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、サーキュラーコマース事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,158,194千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「四輪事業」を「オートモビル事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2023年11月14日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却をすることを決議いたしました。その主な内容は次のとおりであります。

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| 1. 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| 2. 消却する株式の総数 | 1,700,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 6.42%) |
| 3. 消却予定日 | 2023年11月30日 |

(ご参考)

消却後の発行済株式総数	24,763,200株
消却後の自己株式数 (見込み)	857,816株

(注) 1. 上記見込みは2023年9月30日現在の自己株式数を基準に算出しております。

2. 自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式256,300株を含めておりません。